

登録コード	HM130100	開講年度	2026					
授業題目	救急医学特論					担当教員	今村 浩 他	
英文授業名	Emergency Medicine					副担当	高山 浩史・問田 千晶	
単位数	2	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	1年生	
講義室				授業形態	講義	備考		
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	(授業の達成目標)	
	2026HM医学分野初, 2025HM医学分野初, 2024HM医学分野初, 2023HM医学分野初							
	【専攻】医学・保健学研究において基礎・応用・臨床の枠を越え、課題の本質を見抜き解決方法を見出す洞察力					⇔	・重症救急患者の病態生理を臓器横断的に説明できる。	
(2)詳細/Detailed information	小児から高齢者に至る救急患者の緊急度と重症度を理解し、適切なトリージと初期診療を行うためには系統的だったアプローチをいかに行うか、病態生理学的変化に応じて、一般臨床より一段深い考察を行う。							
(3)授業の概要/Overview of course	重症救急患者の病態生理について学び、臓器横断的な思考力を身につける。							
(4)授業計画/Course plan	1回：救急医学総論 緊急度と重症度の評価、緊急処置について理解を深める。 2回：心肺蘇生法 蘇生科学に対する理解を深める。 3回：ショック ショックのメカニズム、各種ショックの分類と病態に対する理解を深める。 4回：急性呼吸不全 急性肺水腫、ARDSの病態生理について理解を深める。 5回：侵襲と生体反応 侵襲とそれに対する生体反応、SIRS（全身性炎症反応症候群）、敗血症に対する理解を深める。 6回：外傷初療 病院前外傷処置、ERでの外傷診察法、緊急診断、外傷スコア、多発外傷に対する理解を深める。 7～15回：救急初療における諸問題 1回～6回で学んだ各種救急疾患において、現状の救急医療で対応できない問題点を議論する。 担当 今村 浩：第1～3回、7～15回 問田千晶：第4, 5回 高山浩史：第6回							
(5)成績評価の方法・基準/Grading/evaluation method/evaluation criteria	試験を受けるためには2/3以上の出席が必要である。 期末試験（100点満点）成績により決定。 得点率による評価基準は次の通りにする。90%以上：秀、80－89%：優、70－79%：良、60－69%：可、59%以下：不可							
(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/Reference work(s)	学生参加型の授業です。積極的な発言を期待します。							
(7)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	E mailにて受け付けます。							
(8)授業の形式/Course format	講義、スライド、ビデオ、プリント							